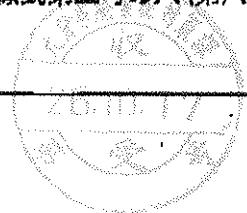


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

26年10月14日

都道府県知事
(市長) 殿

提出者 豊後高田市西真玉1019-1
 住 所 桑原耕一
 氏 名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	桑原耕一
事業場の所在地	豊後高田市西真玉1019-1
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	農業(畜産業)
②事業の規模	肉牛 880頭
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふ人尿、自ら堆肥化 動物の死体、化製場へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長 廃棄物処理 方針の決定、各種事項の決定

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふ人尿	動物の死体
	排 出 量	6278 t	2 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふ人尿	動物の死体
	排 出 量	6278 t	1.5 t
(今後実施する予定の取組)			
・飼養管理の改善			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	動物の死体
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	0 t
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	2053 t	0 t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	動物の死体
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	2053 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(25 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふく液	動物の死体
	全処理委託量	0 t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	動物の死体
	全処理委託量	0 t	1.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			